



PRESSRELEASE

報道関係各位

2019年8月29日

**8割以上の管理職が「課題解決のために“プロフェッショナル人材”が必要」と回答
「働き方を変えたい」と考える年収800万以上の会社員は約8割
その理由は「給与のアップ」よりも「自分のスキルを活かした働き方」「裁量を持って働く」ことだった
<ビジネスマン600人に聞いた「働き方」に関する意識調査>**

外部プロ人材の経験・知見を複数の企業で活用するプロシェアリングサービスを運営する株式会社サーキュレーション（所在地：東京都渋谷区、代表取締役：久保田雅俊、以下サーキュレーション）は、採用に関与している部長以上の会社員・経営者300人と、年収600万円以上の会社員300人に対して働き方に関するアンケートを実施しました。

※プロフェッショナル人材とは、地域企業の経営者の右腕として、新たな商品・サービスの開発、その販売の開拓や、個々のサービスの生産性向上などの取組を通じて、企業の成長戦略を具現化していく人材です（内閣府WEBサイトより）。

■調査結果サマリー

- ✓ 採用に関与している部長職以上の約8割が自身の部署に「解決すべき課題がある」と回答！
- ✓ 採用に関与している部長職以上の84.7%が「課題解決のために“プロフェッショナル人材”が必要」だと思っている！
- ✓ 年収600万円以上の会社員の約2人に1人が自身を“プロフェッショナル人材”だと言うと回答。
- ✓ “プロフェッショナル人材”の38.0%が「実力に見合った給料を受け取っていないと思う」と回答！しかし、働き方を変えるなら「より自分の能力／資格を活かしたい」と回答した人が42.7%も！
- ✓ 現在の年収と理想の年収、ギャップは最大2,000万円！？

■調査概要

調査名：働き方に関する調査

日時：2019-06-18～2019-06-21

性別：男女

年齢：20代以上

地域：全国

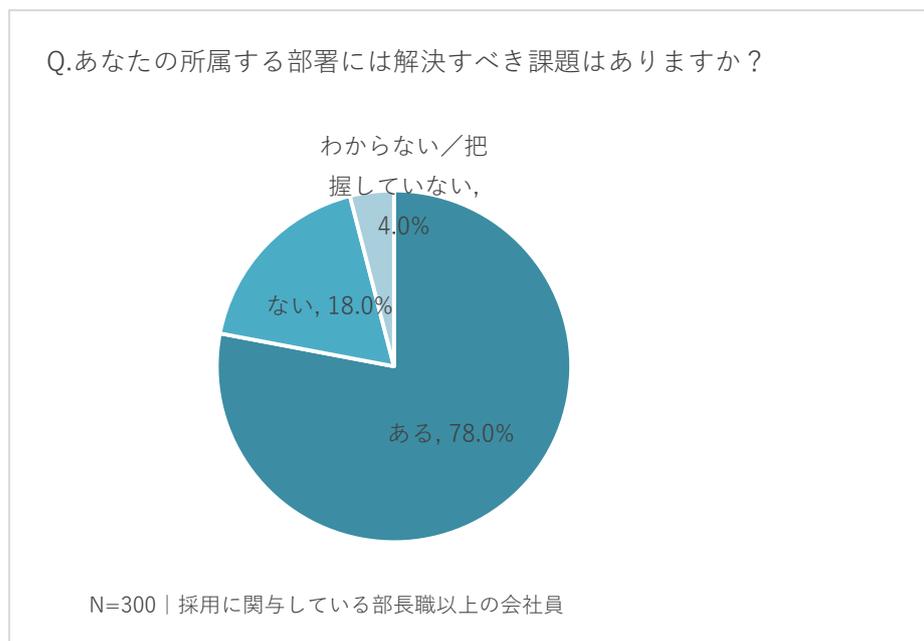
その他：採用に関わっている部長以上の会社員・経営者/年収600万円以上の会社員

サンプル数：600ss

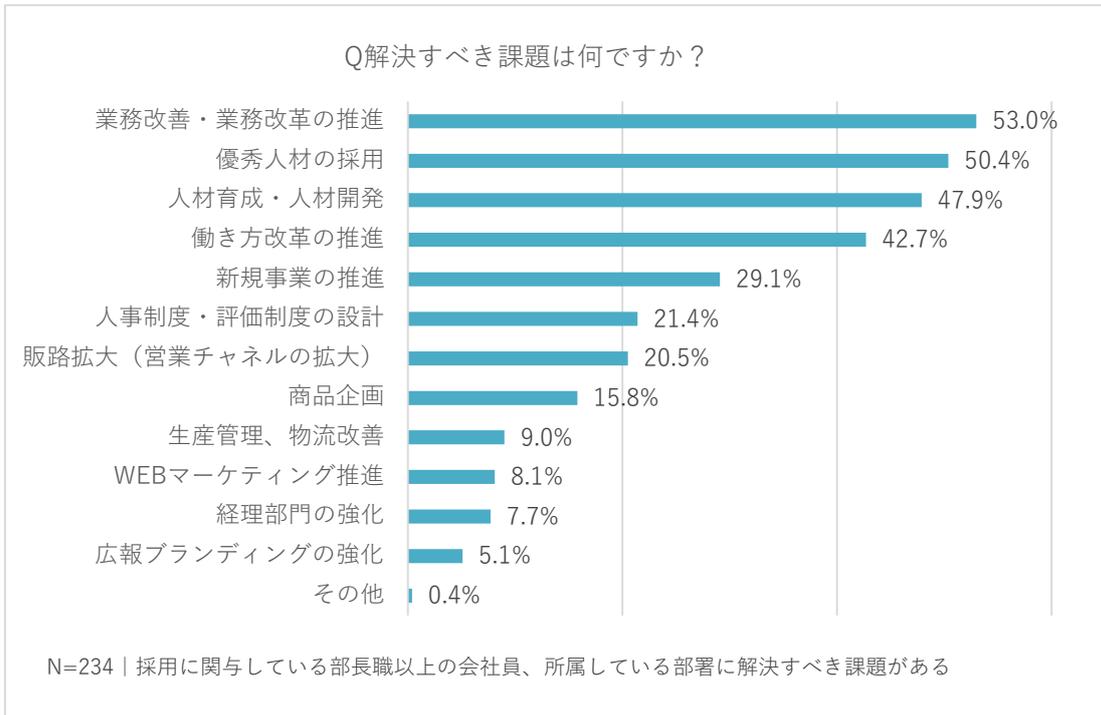
■調査結果詳細

<パート1：採用に関与している部長職以上の会社員・経営者対象>

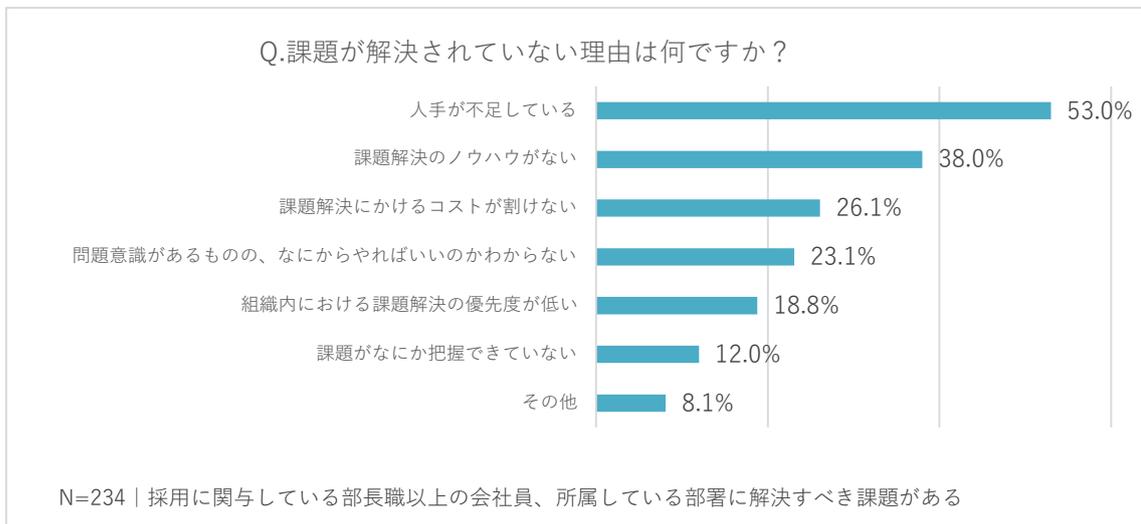
採用に関与している部長職以上の会社員・経営者に、現在所属している部署に解決すべき課題があるか聞いたところ、78.0%の人が「解決すべき課題がある」と回答しました。



また、その課題は何かという質問の答えとして、「業務改善・業務改革の推進(53.0%)」、「優秀人材の採用(50.4%)」、「人材育成・人材開発(47.9%)」が上位となりました。

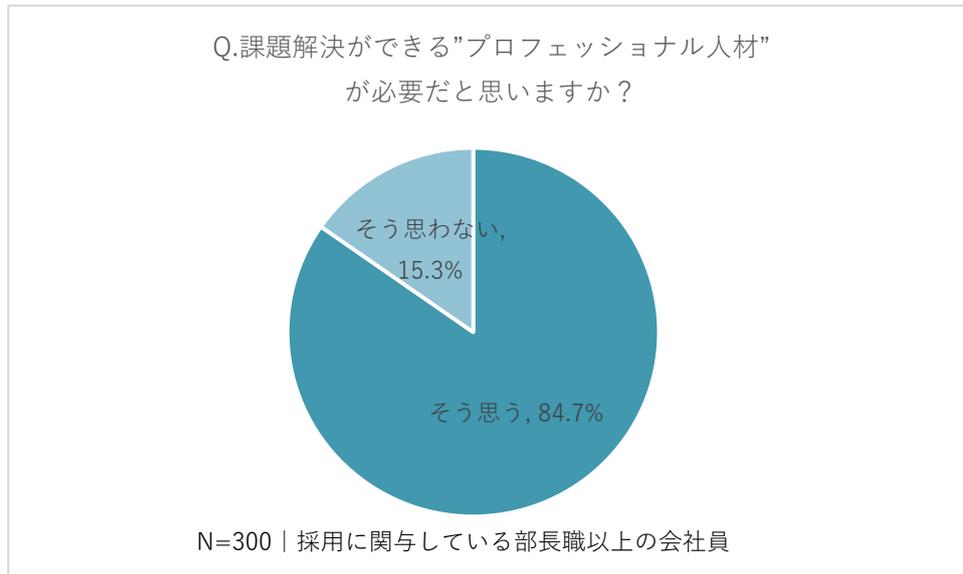


さらに、抱えている課題が解決されていない理由は何かという質問に対しては、2人に1人が「人手が不足している(53.0%)」と回答し、次いで「課題解決のノウハウがない(38.0%)」、「課題解決にかかるコストが割けない(26.1%)」と続く結果となりました。



一方で、自身の部署に給与とスキルが見合っていない正社員がいるかという質問をしたところ、38.3%が「実力以上の給料を受け取っている社員が多いと思う」と回答しました。

また、課題解決ができる“プロフェッショナル人材”が必要だと思うかという質問に対しては84.7%の人が「必要だと思う」と回答しました。解決すべき課題はありながらも、解決するための人材確保に苦戦している企業が少なくないということが明らかになりました。



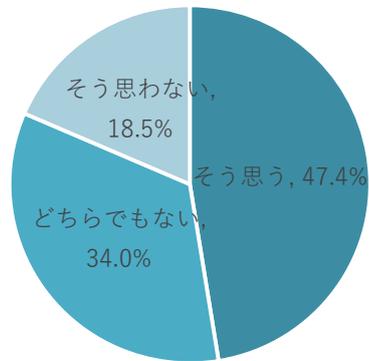
しかし、課題解決のための人材を採用しようと試みたことがあるかの質問に対しては「ある」と回答した人が46.3%となり、必要性は感じているものの採用活動にまでは至っていない企業もいるということが分かりました。

<パート2：年収600万円以上の会社員対象>

続いて、年収600万円以上の会社員を対象に調査を実施しました。

「自分自身のことを専門的な技能を持つ“プロフェッショナル人材”だと思いますか。」という質問に対し、年収600万円以上の会社員の47.4%が「そう思う」と回答しました。年収800万円以上だと53.2%、年収1000万円以上だと54.2%が「そう思う」と回答しました。

Q.あなたは自分自身のことを
”プロフェッショナル人材”だと思いますか？

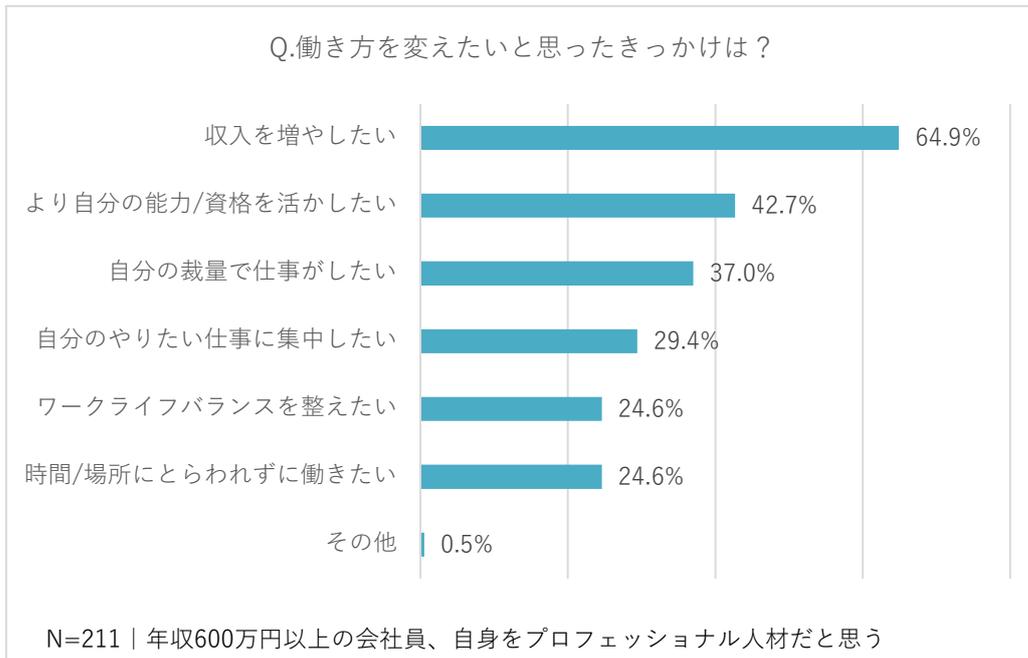


N=479 | 年収600万円以上の会社員

また、自分自身を“プロフェッショナル人材”だと思っている人のうち、38.0%が「実力に見合った給料を受け取っていないと思う」と回答。年収 800 万円以上だと 36.4%、年収 1000 万円以上だと 31.9%が「実力に見合った給料を受け取っていないと思う」と回答しており、給与面の現実と理想との間でギャップがあるということが明らかになりました。**現在の年収と理想の年収についても聞いたところ、そのギャップは最大 2000 万円となりました。**

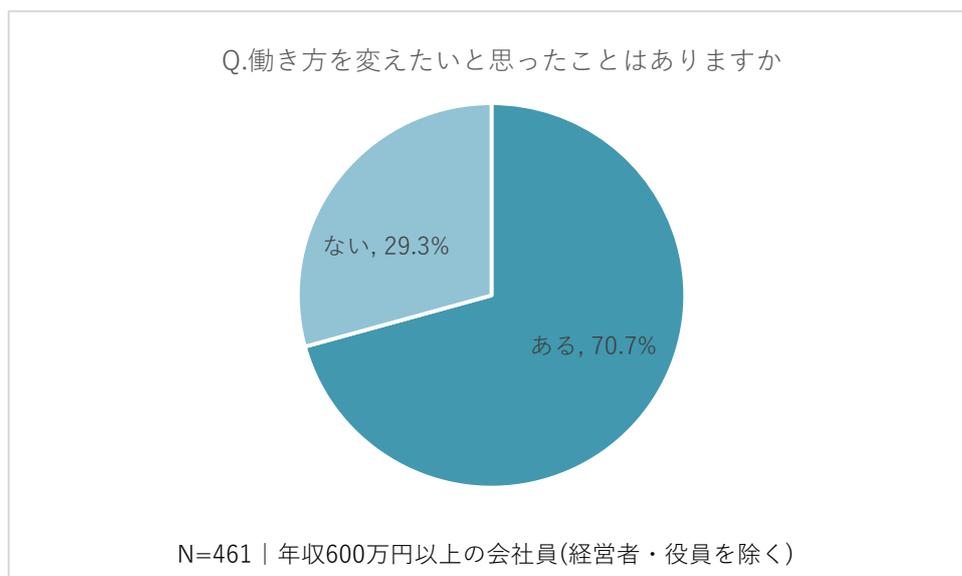
自分自身を“プロフェッショナル人材”だと思っている人のうち、8割(80.6%)の人が「働き方を変えたいと思ったことがある」と回答しました。年収 800 万円以上でも 80.8%、1000 万円以上だと 75.4%の約 8割の人が「働き方を変えたいと思ったことがある」と回答しました。その理由については年収 800 万円以上で「より自分の能力／資格を活かしたい(51.4%)」や「自分の裁量で仕事がしたい(41.9%)」が高くなりました。

給与面でギャップを感じつつもより自分のスキルを活かした働き方を望む人が多いということが明らかになりました。



年収 600 万円以上の会社員全体でも 7 割(70.7%)の人が「働き方を変えたいと思ったことがある」と回答し、そのために検討したこととして「転職(46.3%)」、「副業(34.0%)」、「資格取得(21.2%)」が上位となりました。

年収 800 万円以上でも 70.6%、1000 万円以上では 66.7%の約 7 割の人が「働き方を変えたいと思ったことがある」と回答しました。そのために検討したこととして、上位の「転職」「副業」「資格取得」は変わりませんでした。1000 万円以上の人で「就業条件・契約形態の交渉(23.2%)」が高くなりました。





また、働くモチベーションについて聞いたところ、1位「高い給与(50.5%)」、2位「自分の能力を活かせる(30.5%)」、3位「自分の裁量で進められる(13.4%)」、4位「時間／場所にとらわれない(5.6%)」となりました。

年収 800 万円以上、1000 万円以上でみると、年収が高くなるほど「高い給与」の割合が低くなり、「自分の裁量で進められる」の割合が高くなりました。

最後に、自分自身が持つスキルを活かして副業できるプロジェクト・案件を紹介するサービスの利用意向について聞いたところ 2 人に 1 人(50.3%)が「利用したいと思う」と回答。年収 800 万円以上だと 49.1%、年収 1000 万円以上だと 46.6%の約半数の人が「利用したいと思う」と回答しました。

■株式会社サーキュレーション会社概要

「世界中の経験・知見が循環する社会の創造」という理念のもと、プロフェッショナル人材のシェアリングサービスを運営しています。企業の抱える様々な課題・ミッションに焦点を当て、それらを解決できる高い専門性を有したプロフェッショナル人材の経験・人脈をプロジェクトベースで活用いただく、オープン・イノベーション（外部プロフェッショナル人材活用）コンサルティングを行なっています。

10,000 名のプロフェッショナル人材のリソースから、企業の経営課題・業界・成長フェーズ・社風・経営における理念・思想を鑑み、企業に最適なプロフェッショナル人材を選出し、課題解決プロジェクトチームを組成します。登録している 20 代から 70 代のプロフェッショナル人材は、対面でのインタビュー（及び電話/skype）を実施し、独自の人材アセスメントにより、スキル・経験・志向性・人物について適正な評価・知見を蓄積しています。2014 年設立以来、プロジェクト実績は 700 社／1,800 プロジェクトを超えています。（2018 年 4 月現在）



会社名 株式会社サーキュレーション (<http://www.circu.co.jp/>)
代表者 代表取締役 久保田 雅俊
設立 2014 年 1 月 6 日
所在地 〒150-0001
東京都渋谷区神宮前 3-21-5 サーキュレーションビル ForPro

* 外部プロフェッショナル人材を活用したオープンイノベーションサービス
<https://www.circu.co.jp/corporate/>

* 1 時間からプロに相談「X-book」
<https://x-book.biz/>

* エンジニア/デザイナーに自由を「flexy」
<https://flxy.jp/>

* 副業・リモートワークなど、働き方を選びたい人のための新しい働き方メディア「nomad journal」
<https://nomad-journal.jp/>